

広島市水産振興センター指定管理者の業務実施状況（平成29年度）の概要・評価

1 施設名及び指定管理者等

(1) 施設名及び所在地	広島市水産振興センター（広島市西区商工センター八丁目5番1号）
(2) 指定管理者等 （非公募により選定）	(1) 名称及び所在地 公益財団法人広島市農林水産振興センター （広島市安佐北区深川八丁目30番12号） (2) 指定期間 平成26年4月1日～平成30年3月31日 (3) 指定管理料の限度額（4年間分） 5億6,278万3千円

2 実地調査の実施状況

区 分	内 容
実施年月日	平成29年9月13日（水）及び平成30年3月22日（木）
実施内容	業務実施状況の確認、職員へのヒアリングを行った。

3 業務の実施状況

平成29年度の状況		市の評価
(1) 管理業務の実施状況		
ア 市民の平等利用の確保策の実施状況		○
(ア) 広島市水産振興センター条例等関係法令を遵守し、理由もなく市民の施設利用を拒んだり、不当な取扱いが生じないよう、研修等により、職員に周知徹底を図り、市民の誰もが平等に利用できるように対応している。 (イ) 施設の利用案内等の情報をホームページ等により提供している。		
イ 事業の実施状況		○
(ア) 次の事業を実施している。 a 水産動植物の増殖・養殖技術の試験研究及びその成果の普及指導 b 水産動植物の種苗の生産、配付及び放流 c 水産資源に関する調査 d 水産に関する資料、情報等の提供 (イ) 特記事項 オニオコゼ種苗については、当初の計画で3万尾生産予定であったが、1万9千尾の生産に留まった。 指定管理者は、5月下旬から7月下旬まで可能な限りの種苗生産を試みたが、施設のろ過能力を超える赤潮発生が原因と考えられたため、生産計画の未達成はやむを得ない状況と判断した。 こうした事態を受け、赤潮の情報を適宜収集するとともに、飼育海水の状況を確認し、生産に適さない場合は、種苗の早期放流や生産の休止の措置を行うこととした。		
ウ 維持管理業務等の実施状況		○
次の業務を実施している。 (ア) 広島市水産振興センターの施設及び設備の維持管理に関すること。 (イ) その他市長が定める業務		

平成29年度の状況				市の評価
(2) 指定管理料等の収支状況				○
ア 平成29年度の状況				
区分	計画 (ア)	実績 (イ)	差引 (イ) - (ア)	
収入 (a)	1億2,058万7千円	1億1,676万4千円	△382万3千円	
指定管理料	1億2,058万7千円	1億1,675万1千円	△383万6千円	
その他	0千円	1万3千円	1万3千円	
雑収入(0千円)		雑収入(1万3千円)	雑収入(1万3千円)	
支出 (b)	1億2,058万7千円	1億1,676万4千円	△382万3千円	
差引 (a) - (b)	0千円	0千円	0千円	
イ 特記事項 人件費等が当初の見込みを下回り支出が計画より少なくなったことから、余剰金が生じているが、これについては、指定管理者が指定管理料の概算払を選択しているため、本市に全額（383万6千円）を戻入した。				
(3) その他				
ア 利用者ニーズの把握及びそれを踏まえた管理運営の実施状況（指定管理者によるアンケートの実施等） 「海辺の教室」及び「海辺の体験教室」の参加者に対しアンケート調査を実施し、利用者ニーズや内容に関する意見を把握し、次回の企画の参考としている。				○
イ 個人情報保護への対応状況 個人情報保護規程及び個人情報取扱特記事項を職員へ周知徹底することにより適切に対応している。				○
ウ 情報公開の実施状況 情報公開規程及び情報公開実施要領を作成し、職員への周知徹底を図ることにより適切に対応している。				○
エ 緊急事態、不法行為等への対応状況（防災、防犯などの安全対策を含む。） 「危機管理マニュアル」を作成し、職員への周知徹底を図ることにより、利用者の安全対策や緊急事態への適切な対応を行っている。				○
オ 苦情・要望への対応状況 「苦情・要望対応マニュアル」を作成し、職員への周知徹底を図ることにより適切に対応している。				○
カ 配置人員及び職員研修の実施状況等 (ア) 配置人員（4月1日現在） 15人 (イ) 職員研修の実施状況 a 消防訓練（9月11日、3月14日） b 職員倫理の保持に関する研修会（11月16日） c 職員の健康管理研修会（12月14日） (ウ) 労働基準法等の遵守状況 非常勤職員の処遇について、常勤職員と職務内容等が同一であるにもかかわらず、賃金に差があるとして、平成29年9月26日付けで広島労働局から改善指導を受けたが、速やかに是正が行われ、現在は労働関係法令が遵守されている。				×
キ 自己評価の実施状況 各事業完了後に、実績について評価を行い、事業内容の再検討を行っている。				○
業務の実施状況の評価				B

4 施設の利用状況

平成29年度の状況	市の評価	特記事項						
利用者数等 資料展示室利用者数 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>個人</th> <th>団体</th> <th>総数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2,286人</td> <td>7,472人</td> <td>9,758人</td> </tr> </tbody> </table> ※ 前年度実績 個人1万629人（増減率△78.5%） 団体 7,220人（増減率 3.5%） 総数1万7,849人（増減率△45.3%）	個人	団体	総数	2,286人	7,472人	9,758人	—	
個人	団体	総数						
2,286人	7,472人	9,758人						

5 利用者の満足度

アンケート調査の実施結果等	市の評価	特記事項
市が実施したアンケート調査結果（標本数114件）では、サービス内容などの満足度については、満足が91.9%、不満が0%であった。	A	

6 評価

区分	市の評価	特記事項
評価（5段階評価）	3	非常勤職員の処遇について、常勤職員と職務内容等が同一であるにもかかわらず、賃金に差があるとして、平成29年9月26日付けで広島労働局から改善指導を受けたが、速やかに是正が行われ、現在は労働関係法令が遵守されている。
業務の実施状況	B	
施設の利用状況	—	
利用者の満足度	A	